

設問2・3・4

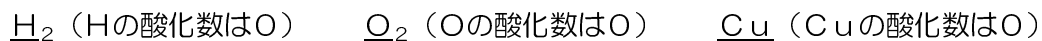
酸化数：酸化還元のためやすとして原子1個に割り当てられる数。必ず符号をつける！

化学反応後 増加 → 酸化

減少 → 還元

〔酸化数の決め方〕

1. 単体中の原子の酸化数は0

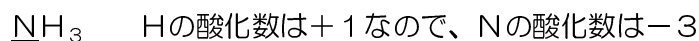
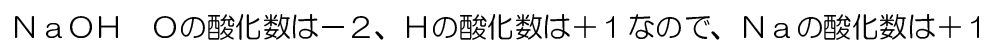


2. 単原子イオンは、イオンの価数と同じ

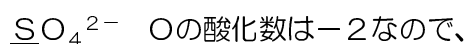


3. 化合物中の酸化数の総和は0

基本的には Hは+1
Oは-2 で計算

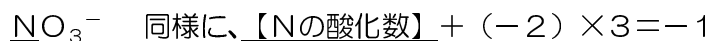


4. 多原子イオンの酸化数の総和はイオンの価数と同じ



$$\underline{\text{Sの酸化数}} + (-2) \times 4 = -2$$

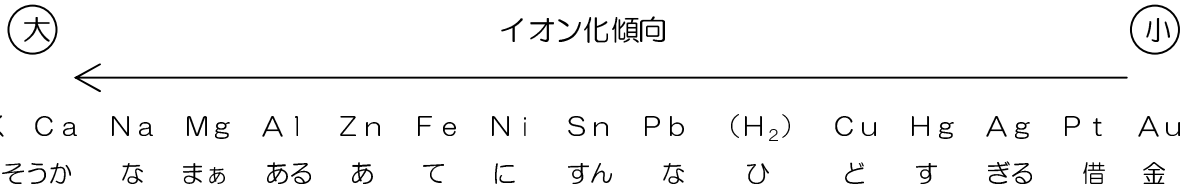
を計算するとSの酸化数は+6



計算するとNの酸化数は+5

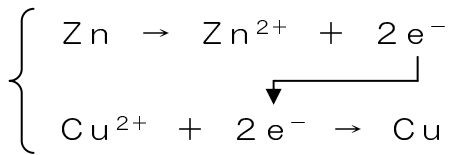
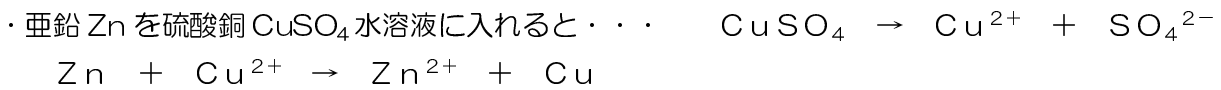
設問6

金属のイオン化傾向：金属が水や酸などと反応して電子を放出し、陽イオンになろうとする性質のこと。
イオン化傾向の大きい金属から順に並べた列をイオン化列という。



イオン化傾向が大きい金属は、陽イオンになりやすい
e⁻を放出しやすい
酸化されやすい

例)



亜鉛は銅よりもイオンになりやすい。
イオン化傾向 Zn > Cu

